

2020年6月19日

「住友化学グループ プラスチック資源循環に関する基本方針」の制定について

住友化学は、このたび、「住友化学グループ プラスチック資源循環に関する基本方針」（以下、「本方針」）を制定いたしました。本方針は、プラスチック資源循環の実現とプラスチック廃棄物問題の解決に向けた当社グループのコミットメントを示したものです。

プラスチックは、自動車や航空機、電子機器、各種包装材など、さまざまな用途に用いられ、人々の生活を支える有用な素材です。一方、使用後の適切な処理・再利用が十分に行われておらず、海洋プラスチックごみ等の環境問題が世界的な課題になっています。

住友化学は、経営として取り組む最重要課題（マテリアリティ）の一つに、プラスチック資源循環への貢献を掲げています。長年にわたり取り組んできた樹脂の薄肉化や詰め替え容器に適したフィルム向け材料などプラスチックのリデュース、リユースにつながる製品の開発・供給に加え、近年は他企業やアカデミアと共同で複数のケミカルリサイクル技術の開発も推進しています。また、これらの取り組みを加速させるため、2020年4月、環境負荷低減に関する技術開発を行う研究グループを新設し、体制を強化しました。さらに、「Alliance to End Plastic Waste (AEPW)」をはじめ国内外のアライアンスにも積極的に参画し、個社では対応が困難な課題の解決にも注力しています。今後は、本方針に沿って、プラスチック資源循環の実現とプラスチック廃棄物問題の解決に向けた取り組みを一層推進していく考えです。

住友化学グループは、事業を通じてサステナブルな社会の実現に貢献するとともに、自らの持続的な成長を果たすべく、これからもグループ一丸となってプラスチック資源循環などの課題解決を目指してまいります。

以上

住友化学グループ プラスチック資源循環に関する基本方針

住友化学グループは、プラスチックは持続可能な社会を支える有用な素材であるとの認識のもと、「サステナビリティ推進基本原則」に則り、プラスチック資源循環の実現とプラスチック廃棄物問題の解決に向け、以下の方針に沿って取り組みます。

- ① 当社グループは、化学の強みを発揮できる技術や製品、サービスの提供など、事業を通じて課題解決に貢献します。
- ② 当社グループは、気候変動問題への対応にも配慮しつつリデュース・リユース・リサイクル（3R）に関するイノベーションを中心に注力し、新しいソリューションの早期社会実装を目指します。
- ③ 当社グループは、海洋プラスチック問題のように個社では解決が難しい課題に対しても、アライアンスへの参加や、オープンイノベーションによる他者との連携等を通じて、様々なステークホルダーと協力し、取り組みます。
- ④ 当社グループは、社員の一人一人が関連する課題を自分事として捉え、自らの行動変革に繋げることができるように、健全な科学に基づいて教育啓発を実施するとともに、分別収集の促進、河川や海岸の清掃などの社会貢献活動にも積極的に取り組みます。
- ⑤ 当社グループは、関連の活動についてレビューを行い、PDCAサイクルを回して内容の充実と質の向上を図りながら取り組みます。

以上